

しん切^{せつ}のわ

(2年)



ゆうしゅうしょう
優秀賞

わたしがお出^でかけしたときのことで、二人^{ふたり}のしん切^{せつ}な人^{ひと}たちに出^で会いまし
た。

一人目^{ひとりめ}は、まんいん^{まんいん}でん車^{しゃ}ですわっていたお姉^{ねえ}さんです。わたしのお母^{かあ}さん
のかたをとんとんとたたき、「よかったらお子^こさんだけでもすわってください。」
とえがおで声^{こえ}をかけてくれました。わたしは立^たっているのがつらかったので、
おれい^いを言^いってすわらせてもらいました。もうしわけないな^{おも}と思ったけれど、
ころがととてもあたたかくなりました。でん車^{しゃ}をおりるとき、かぞくでもう^{いち}
どおれい^いを言^いうと、お姉^{ねえ}さんはにっこりとわらってあたまをさ^さげてくれました。
ころがつうじあつたよ^きうな気がして、とてもうれしかったです。

二人目^{ふたりめ}は、しょう店^{てん}がいで見^みかけたがいこくの男^{おとこ}の人^{ひと}です。わたしがお店^{みせ}の
そとでならんでいると、空^{から}のペットボトルがある^あっている人^{ひと}たちにけられてこ
ろがっていました。あ^{おも}と思^みって見^みていると、むこうからや^やってきたその人^{ひと}が、
さ^いとひろって行^いきました。じぶんのごみではないし、だれかにありがとうと
おれい^いを言^いわれることのないばしょなのに、しぜんにひろえていたことがすご
いなあ^{おも}と思^{おも}いました。そして、お姉^{ねえ}さんのときのようにころがあたたかくな
って、わたしもあんな人^{ひと}になりたいな^{おも}と思^{おも}いました。

わたしは、目^めの前^{まえ}の人^{ひと}にすることだけがしん切^{せつ}というのではないのかもしれ
ない^{かんが}と思^{おも}いました。だれかに見^みられていなくても、だれかのためになっている
からです。そして、お姉^{ねえ}さんがにっこりわらってくれたように、しん切^{せつ}にした
人もいい気^き分^{ぶん}になるのではないかな^{おも}と思^{おも}いました。こんなすてきなしん切^{せつ}のわ
がもつと^{ひろ}がっていくように、わたしも、すこしゆう気^きを出^だしてこまっている
人^{ひと}の力^{ちから}になったり、小^{ちい}さなしん切^{せつ}をたくさんしたりしていきたいです。